

平成30年度 決算報告書

国立大学法人 滋賀医科大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	5,712	5,969	257	(注1)
施設整備費補助金	92	93	1	
補助金等収入	125	281	156	(注2)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	21	21	-	
自己収入	22,392	23,658	1,266	
授業料、入学料及び検定料収入	653	638	△15	(注3)
附属病院収入	21,622	22,704	1,082	(注4)
雑収入	117	316	199	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,232	1,408	176	(注6)
引当金取崩	331	420	89	(注7)
長期借入金収入	634	630	△4	
目的積立金取崩	-	27	27	(注8)
計	30,539	32,507	1,968	
支出				
業務費	26,997	27,322	325	(注9)
教育研究経費	4,835	5,733	898	
診療経費	22,162	21,589	△573	
施設整備費	747	744	△3	
補助金等	125	281	156	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,232	1,285	53	(注11)
長期借入金償還金	1,438	1,422	△16	(注12)
計	30,539	31,054	515	
収入－支出	-	1,453	1,453	(注13)

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階で使用を見込んでいた承継職員に係る退職手当が見込に対して退職者が多かったこと等により、予算金額に比して決算金額が257百万円多額となっています。
- (注2) 補助金等収入については、予算段階で見込んでいた国及び滋賀県からの補助金が増額されたため、予算金額に比して決算金額が156百万円多額となっています。
- (注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、修士課程の欠員(8名)及び受験者数の減等により、予算金額に比して決算金額が15百万円少額となっています。
- (注4) 附属病院収入については、外来患者数の増加及び入院診療単価の増等により、予算金額に比して決算金額が1,082百万円多額となっています。
- (注5) 雑収入については、科学研究費補助金間接経費収入等により、予算金額に比して決算金額が199百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等研究経費及び寄附金収入等については、予算段階で予定していた寄附金収入等の増収により、予算金額に比して決算金額が176百万円多額となっています。なお、決算額には前年度からの繰越金1,764百万円を含んでおります。
- (注7) 引当金取崩については、予算段階で使用を見込んでいた承継職員以外の職員に係る退職手当が見込に対して退職者が多かったこと等により、予算金額に比して決算金額が89百万円多額となっています。
- (注8) 目的積立金取崩については、予算段階で予定していなかった目的積立金取崩により、予算金額に比して決算金額が27百万円多額となっています。
- (注9) 業務費については、給与支給人数の増等により、予算金額に比して決算金額が325百万円多額となっています。
- (注10) 補助金等については、(注2)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が156百万円多額となっています。
- (注11) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注2)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が156百万円多額となっています。
- (注12) 長期借入金償還金については、借入金の利率の低下により、予算金額に比して決算金額が16百万円少額となっています。
- (注13) 収入－支出は、翌年度以降に用途の特定された賞与引当金等471百万円、業務達成基準等により翌年度以降に用途の特定された運営費交付金債務119百万円、退職手当の翌年度繰越額208百万円、産学連携等研究経費及び寄附金事業費等の執行残額123百万円、その他8百万円を含んでいます。